

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	保健体育
-----	------

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</b></p> <p>① 各単元のページには、1時間の学習の流れと、その時間の学習課題が提示されている。</p> <p>② 関連する学習内容が、他のページにあることを示すマークを入れ、各単元のつながりを示している。</p> <p>③ 各時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示し、巻末に重要語句の解説を載せている。本文の内容を裏付けたり、理解を助けたりするためにページ内に〔資料〕が記載されている。各章末に知識の取得を確認する「確認の問題」「活用の問題」が設けられている。</p> <p><b>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</b></p> <p>① 各章に関連する道徳の価値項目が示されており、カリキュラムマネジメントの視点で、教科を横断して授業を展開することができる。</p> <p>② 各時間に「活用する」が設定されており、自分の生活に置き換えたり、学んだことをまとめたりする活動が設けられている。</p> <p><b>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</b></p> <p>① 学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。</p> <p>② すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。例えば「章末資料（P 43）」に胎児を育てる母体の神秘―胎盤とへその緒―という資料が記載されている。</p> <p><b>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</b></p> <p>① 「見つける」の本文中に学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p><b>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</b></p> <p>① 「活用する」で、言語活動に係る学習活動について記載している。思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを設けている。</p>

大日本	<p><b>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</b></p> <p>① 各単元のページには、導入の手立てが「つかもう」で示されている。また、まとめとして「活用して深めよう」が示されている。</p> <p>② 各単元のページには、トピックスを掲載し、学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。</p> <p>③ 各時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示している。見開き構成において、確実に身につけたい学習内容は左ページの本文にまとめ、本文に対応した資料を右ページに配置し、内容の理解につなげている。各章末で、〈重要な言葉〉をまとめ、重要語句や要点を再確認ができるようにしている。</p> <p><b>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</b></p> <p>① 章毎に小学校から高等学校までの学習の繋がりを示しており、学習を深めていけるような工夫がされている。</p> <p>② 各時間に「調べてみよう」が設定されており、いろいろな視点から学習内容を生かし、深めていけるような課題が設定されている。</p> <p><b>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</b></p> <p>① 学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。</p> <p>② 学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。例えば「トピックス (P 4 4)」にアンガーマネジメントについて掲載してある。</p> <p><b>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</b></p> <p>① 「やってみよう」の本文中に学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p><b>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</b></p> <p>① 「学びを活かそう」で、言語活動に係る学習活動について記載している。課題や事例をもとに考えを書く内容が掲載されており、記入欄を広く設けている。</p>
-----	--

大修館	<p><b>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</b></p> <p>① 各単元のページには、1時間の流れと重要なポイントがキーワードで示されている。</p> <p>② 「コラム」の中で、学習内容に関連した資料を提示し、理解を助ける内容を示している。</p> <p>③ 各時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示し、終末に「学習のまとめ」を設け、重要語句の意味を確認している。本文の内容の理解につながるようページ内に〔資料〕が記載されている。各章末で「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」が設けられている。</p> <p><b>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</b></p> <p>① 章扉に挿絵が多く、学習内容をイメージしやすくなっており、実生活と結びつけやすくなっている。</p> <p>② 各時間に「学習のまとめ」が設定されており、実生活に関わるチェックリストや実生活につながる課題を設定している。</p> <p><b>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</b></p> <p>① 学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。</p> <p>② すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。例えば「保健の窓（P 24）」にスマホ首と疲労について掲載してある。</p> <p><b>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</b></p> <p>① 「課題をつかむ」の本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。</p> <p><b>(オ) 第5の観点 言語活動の充実</b></p> <p>① 「課題をつかむ」「学習のまとめ」で、言語活動に係る学習活動について記載している。知識や考えをまとめたり、話し合ったりする活動を多く設定している。</p>
-----	---

**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ① 単元のページには、「学習の目標」から「まとめる・深める」までの1時間の流れが示されている。
- ② 各単元のページには、文中に関連する資料の番号を示し、グラフなど視覚を伴って理解できるようにしている。
- ③ 時間の学習内容のページにおいて、ポイントとなる重要語句を本文中に太字で示している。本文の内容の理解につながるようページ内に〔資料〕が記載されている。各章末の「章のまとめ」で、ポイントとなる重要語句を「この章で学んだキーワード」でまとめ、理解できているか確かめるための問題が載せられている。

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ① 章扉に、学習の進め方が書かれており、見通しを持った学習が期待できる。また、各章に関連する人物が紹介されており、幅広い視点で学習を深めることができる。
- ② 各時間に「考える・調べる」が設定されており、実際に起きた過去の事例や、今後予想される出来事を想定した課題等、実生活につながる課題を設定している。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ① 学習指導要領に示されている内容が適切に構成されている。
- ② すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている。例えば「探求しようよ (P 39)」に脳死と臓器移植について掲載してある。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ① 「課題をつかむ」の本文中で学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

- ① 「課題をつかむ」「まとめる・深める」で、言語活動に係る学習活動について記載している。話し合う、表現するなどの言語活動を設けている。主に言語活動を含む学習活動には「言語」のマークを示している。